

一般質問通告表

令和元年第2回始良市議会定例会（6月27日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
16. 有川 洋美	1. 投票率と票の管理について	<p>4月7日に鹿児島県議会議員選挙が実施された。</p> <p>投票率が鹿児島県全体で44パーセント、始良市においては47.11パーセントであった。半分以上の市民が投票をしていない。この結果を、私たち政治に関わる者は重く受け止める必要がある。</p> <p>さらに今回、鹿児島市の開票所で有効投票と無効投票を合わせた投票総数が投票者数を10票上回るということが起こった。「投票用紙の持ち込みか」と新聞等で報道された。</p> <p>そこで、投票率と、票の管理について以下を問う。</p> <p>(1) 今回の鹿児島県議会議員選挙における始良市内における年齢別の投票率を示せ。</p> <p>(2) 投票率が上がらないことをどのように考えるか。また、投票率を上げるために、具体的にどのようなことに取り組んでいるのか。</p> <p>(3) 投票所のバリアフリーについて説明せよ。</p> <p>(4) 「投票用紙の持ち込み」がなぜ可能なのか。考えを問う。</p> <p>(5) 「票の持ち帰り」は可能なのか。</p> <p>(6) 期日前投票の票の管理について問う。</p> <p>(7) 始良市における主権者教育の取組を問う。</p>	市長 選挙管理委員会委員長 教育長
17. 堀 広子	1. 高齢者の難聴に対する支援について	<p>(1) 高齢者の難聴対策として、補聴器は必需品となっている。高価なため、低い収入の高齢者は購入をあきらめ、</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 障がい者の参政権について</p> <p>3. 重いランドセルの対策を</p>	<p>聞こえないまま毎日を過ごすという深刻な問題がある。</p> <p>補聴器は、高齢者の社会参加の必需品であることから、補聴器購入の助成制度を実施する考えはないか。</p> <p>(2) 難聴に早く対応すると、認知症やうつ病などへの進行を防ぎ、医療費を抑える効果が期待できることから、3年に一度実施している高齢者実態調査に聴力に関する項目を入れてはどうか。</p> <p>(1) 現在の始良市における期日前投票を含めた障がいのある人への投票に際しての「合理的配慮」の観点で、どのような施策の提供をしているのか具体的に示せ。</p> <p>(2) 国の障害者差別解消法や県の障害者差別禁止条例（障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例）では、投票に関して障がい者の参政権についてはどうなっているか。</p> <p>(3) 今後、障がい者団体や障がいごとに個人などに聞きとりをするなどして、合理的配慮の具体化を図っていくべきだと思うがどうか。</p> <p>重いランドセルを背負い続けることによる子どもの体への影響が問題になっている。文部科学省が全国の教育委員会に対し、重量などに配慮するよう求める通知を出している。通知に対してどのような手立てを講じたか、その内容を問う。</p>	<p>選挙管理委員会委員長</p> <p>教育長</p>
18. 谷口 義文	1. 陳情・請願について	<p>これまで議会に提出され採択された案件については、それぞれ検討され、計画は立てられているのか。</p>	<p>市長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(1) 武道館建設に関しては、平成28年第1回定例会において、全会一致で採択されている。検討、計画内容を示せ。</p> <p>また、本市柔道会開催の選手権大会もすでに9回目が終わり、来年2月には節目の10回目を迎える。ところが、試合場が畳1面しかなく、危険極まりなく関係者も苦慮されている。安全面から畳2面は必要である。柔道会からも再三、教育委員会、担当課に試合場畳2面設置の要望がなされているが、現状を把握し、真剣に向き合い検討してきたのか。</p> <p>(2)平成30年第4回定例会において、中山間地域（山田校区）振興に関する陳情書が提出され、陳情事項2項もそれぞれ全会一致で採択されている。</p> <p>中山間地域活性化については、市長も新年度施政方針の中で「北山や山田地区、蒲生の漆など住民自らの手で地域の活性化に挑戦している地域も多くある。私は、そうした地域こそ行政が手を差し伸べ、一緒に活性化を進めていくべきだ」と述べられている。</p> <p>山田校区の減退、衰退を防ぎ、これからの山田校区の目指すべき方向として山田校区住民の共通の課題をまとめた「山田校区まちづくりプラン」が作成されている。地域住民と行政が共に知恵を出し合い、後押しすることも肝要である。</p> <p>第1項は、現在の公民館を活動の拠点となりうる総合的な「多目的集会施設」に新築、移転するものである。</p> <p>また、2項に関しても中山間地域振興には欠かせないものである。それぞれ、検討され計画は進められていくの</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 交通事故対策について	<p>か。</p> <p>東京都池袋、滋賀県大津市と幼い子どもを巻き込んだ痛ましい悲惨な事故が起きている。特に、大津市の交差点事故は16人が死傷する無防備で避けることすらできない一瞬の出来事であった。このような突発的な事故は、いつどこで発生するかわからない、他人ごとではない。</p> <p>本市においても、安全対策として保育園、幼稚園児の散歩道、小・中学生の通学路等の点検が必要である。特に、交差点付近は、危険箇所と思われる。今後、防護柵や車止めのポール等の設置も検討すべきと考える。</p> <p>また、高齢運転者の事故が多発している。本市での安全対策をどう考えるか。</p>	市 長 教育長
19. 和田 里志	1. 奥之宇都線(宇都トンネル)工事について	<p>このトンネル工事は、当初契約金額(4億3,699万2千円)から4回もの契約変更がなされ、トンネル本体工事の総事業費は、9億3,121万4千円となり当初予定の倍以上に膨らんだ。そこでこの工事に関連し、以下のことを問う。</p> <p>(1) 当初、鹿児島市の方で工事を行い本市は負担金を出す方向で計画されていたと思うが、それぞれの分割工事になった理由と、その判断を行ったのは誰か問う。</p> <p>(2) 工事請負変更議案を審議しないまま工事を推進した理由とそれを決定したのは誰か。</p> <p>(3) 工事の契約方法及び工事の進め方、特に地質調査と補助工法に問題はなかったのか。</p> <p>(4) 今後の工事予定と完成時期(供用開始)は、いつを予定しているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 校区コミュニティや自治会、各種団体と行政の関わり、自治会未加入者問題について	(1) 各地域担当職員の配置とコミュニティの関わりについて問う。 (2) 各種団体や自治会未加入者からの様々な要望等に対する行政の対応について問う。	市 長